

クビアカガードネット 参考歩掛表

- ・クビアカガードネットは基本的には1.8×50mのものを使用して、枝分かれが無く主幹が1本の樹に一重巻きで設置するものとして算出
- ・傾斜が無く平らな場所で設置するものとして算出
- ・地面から高さ2m未満程度の設置を想定した歩掛表（高所作業に関わる設備等は含まれておりません）

部材使用数量	項目	規格	1本の樹に使用する概算数量
	クビアカガードネット	0.9×50m 1.8×50m ※出荷単位：1本	対象樹体の中で最も太い地点の幹周分の長さ ※ネットの防除効果を増す為に二重巻きにする場合は、上記のメートル数×2が必要。
	押さえ用金具（U字ピン+ワッシャー）	15cm or 20cm ※出荷単位：200組	最も太い地点の幹周分の長さ ÷ 0.2（20cm間隔でピンを使用する場合）
	防草アグリシート ブラック	1.5×100m ※出荷単位：1本	【株元からの雑草再発生を抑制するために防草シートを使用する場合】 根張り部分も含めた株元の直径分の長さ
	その他 浮かせヒモ用PPロープ、粘着テープ、ガンタッカー（針はステンレス製を推奨）、ホッチキス（針はステンレス製を推奨）、シュロ縄、アグリシートテープ 等を設置現場の状況に応じて使用。		

参考作業費	項目	参考人工	備考
	ネット巻き作業費	0.2人工/1本当たり	※1人でネットを設置出来る本数（1日当たり）を5本として算出 例）東京都の場合、2022年度版 建設物価本によると、普通作業員の労務単価が ¥22,200 となっているので、樹1本当たりのネット巻き作業費は、（¥22,200×0.2）＝¥4,440 となる。 （ネットを設置出来る本数は、幹の太さや根張りの面積等の影響で大きく変動します）

※ネット巻きの段数（高さ）を増やす場合、クビアカガードネットの使用数量は（段数×幹周の長さ分）増えることになります。

※ネット巻きの段数（高さ）が増えたり、複数の主幹にネットを巻く場合等は、作業の手間が増すために作業費は増えることになります。

※上記はあくまでも参考の歩掛表です。設置現場の状況によって「部材使用数量」・「参考作業費」は変動する場合がありますので、現地の状況を必ず確認してから御見積をして頂きますようお願い致します。